

「茨木版共創」デザインブック骨子案

1. はじめに

1-1 この冊子について

→本デザインブックの策定趣旨や使い方について説明

1-1 なぜ「共創」が必要？

→共創が求められる時代的・社会的背景などについて

1-2 茨木市における「共創」とは？

→茨木市が捉える「共創」の考え方について

→全庁的に取り組んでいる他の共創事業も含めた全体像について

2. 茨木市の共創事業

2-1 茨木市の多様な共創事業

→市役所の多様な部署で取り組まれている共創事業の紹介

2-2 共創事業のプロセスと成果

→次年度に市役所担当者へのヒアリングやワーキングで整理

3. 茨木共創部

3-1 茨木共創部とは

→モデル事業として実施した「茨木共創部」のコンセプトや体制、運営形式などを説明（+2025年度の共創部の内容も加えることを想定）

3-2 茨木共創部で生まれた取り組み

→茨木共創部の各チームの取組内容について紹介

→それぞれのチームの成果と、参加メンバーが得られたものについて説明

4. 茨木らしい共創とは

4-1 「茨木版共創」のポイント

→茨木らしい共創のポイントとその解説（10個ほど、以下は現状案）

- ①過程が大切 ②やってみる ③試行錯誤 ④学び合う
- ⑤感謝の気持ち ⑥自分ごと化 ⑦無理しない ⑧開いた参加
- ⑨つながりを増やす ⑩つながりを活かす

4-2 茨木市の共創の拠点「おにクル」について

→共創の拠点としての「おにクル」の強みや特長について

5. 今後に向けて

→今後の「茨木版共創」の推進に向けて、そのプラットフォームのあり方（体制、コーディネート人材、参加の枠組みなど）や、テーマ設定、評価のあり方などについて提案する。